

時代の変化とともに、過去の記憶は人々の頭の中でますますぼんやりしてきた。年をとった人たちの思い出を喚起するために、若者や外国の皆が「福井の歴史」を学びやすくするためにこの新聞を作った。

博物館の歴史

1984年に福井県立博物館として開館。当初は総合博物館として自然、歴史、民俗、産業に関する展示などを行っていたが、自然分野に関する展示は2000年（平成12年）に開館した福井県立恐竜博物館に移管している。



博物館の施設

昭和30-40年代の町並みや農家を再現した「昭和のくらし」コーナー、福井の歴史をたどる「歴史ゾーン」などが常設されている。そのほか、博物館の修蔵庫をイメージした展示を行ない資料の整理や調査などの様子を見ることが出来る「オープン収蔵庫」、映像資料などが見られる情報ライブラリーを備える。

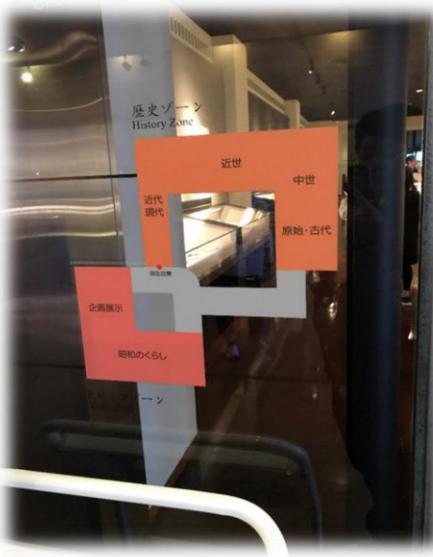
福井の歴史が楽しめる

——「福井県立歴史博物館」

誰でも楽しめる博物館

子どもや若者は新鮮な驚きで歴史が学べる

どこでもの歴史の博物館はほとんど古代から現代まで、地方の歴史に関する資料を収蔵し、展示しているが「福井県立歴史博物館」には違う。なかでも、「歴史ゾーン」コーナーは現代から古代へと歴史をさかのぼるゾーンだ。えちぜん鉄道のような福井ならではのものを展示しながら、人々の暮らしや文化、時代ごとを紹介する。子どもや若者は展示の順に見学すると彼らの身近なものから疎い物までが出て来る、驚くほど今と昔の違いが見える。



年配の人に懐かしい記憶を思い出させる

福井県立歴史博物館の展示の重点のもう一つは市井に住んでいた人々の暮らしに触れられることだ。その「昭和のくらし」コーナーは、昭和時代の村や町を再現し、当時の市民が使っていた家具などを展示してる。また、それらの再現されてる店や家の中の家具を置く場所は季節の流れに応じて変化する。

例えば、秋の時には家の中に椅子と机だけあるけど冬になると机の上に冬のコートや手袋を置くこともある。何度来館しても忠実に生きてる人がいるが感じられる。年配の人に対してそれはまるで自分の若い時代に戻ってタイムスリップしているようだ。



「昭和のくらし」というコーナーで展示しているの売場

観光 TIME

令和元年 12月9日

周辺の案内

博物館は幾久公園内にある。春は、白モクレン、桜が咲き；夏は、藤が満開し；秋は、ドングリとイチョウが落ち；四季を十分に楽しみ、リラックスに良いところだ。なお、緑ゆたかな公園には、遊具や遊歩道があり、子供達が元気に遊ぶことができる。天気の良い日には、公園でお弁当もオススメだ。

交通案内

- 京福バス【大和田大学病院線】
「県立歴史博物館前」下車
- コミュニティバス「すまいる」
【文京・田原町方面】「宮前町」下車
- えちぜん鉄道【三国芦原線】
「西別院」駅下車 徒歩約10分
- 福井鉄道「田原町」駅下車
徒歩約15分
- タクシー 約10分

私たちはそれぞれの国から違う言語を話している人である。日本の文化や歴史などに興味を持つために集まって来た。

福井は長い歴史を持つ都市で、その「傷」、「繁栄」はすべて歴史の瞬間として描かれている。この新聞を通じて、外国人の皆は福井にもっと興味を持つことを望んでいる。

博物館の魅力と良さ

歴史博物館の良さとは何であろうかを知るために研究者の瓜生さんにインタビューした。博物館には古い物しかないし、自分と全然関係がないと思う人が多いが、実はまったく違うようだ。最初は確かにそう思うかもしれないが、歴史博物館に行くと、昔の人の暮らし方や過去に起こった事件を学び、現在のことも理解できるという。

また、時が経つと、現在普段使っている物もいずれ博物館で展示されるようになるから、将来的には、今の若者も今の高齢者と同じように懐かしさを感じて感動するだろうと先生は言っていた。

現在の若者に知ってほしいこと

歴史博物館にはもう一つの魅力がある。それは、過去に起こった悪い事件を学び、もう一度繰り返さないように気をつけることである。森田という来館者に「今時の若者に知ってほしいことがありますか」と聞くと、「福井の空襲」だと答えた。

このような残酷なことを避けるために、過去に苦しい思いをされた人の気持ちを大事にしながら歴史を学ぶことはよいのではないだろうか。

また、福井県立歴史博物館の「昭和のくらし」の展示はとても重要なものがある。それは日本が第二次世界大戦から復活したときの時代であると学んだ。具体的にいうと、高度経済成長期のものである。

博物館で小学生の見学に同行していた教師の宇佐美にもインタビューをした。若者には、現在のような豊かな日本で暮らすことができるのは過去に戦争で苦しんでいた人が、この国を戦争から立ち上がりさせたからだということを知ってもらいたいそうだ。

教育学部 交換留学生 LI WEICHANG

教育学部 交換留学生 MENG HAINUO

教育学部 科目等履修生 Luis Henrique Pinho

国際地域学部 交換留学生 Doan Hong Ngoc

新聞に載せている写真はすべて以上の四人が撮ったものである。